

# 文部科学省CBTシステム（MEXCBT：メクビット）活用事例

## 【熊本県】 学校法人松浦学園 城北高等学校

### 活用の概要

- ・導入直後に、主要5教科の教科主任に対して説明会を開催し、MEXCBTの機能を紹介するとともに、実際にテストを受けてもらい、生徒の感覚を体験してもらった。
- ・現時点では主に国語科の授業で、小・中学校内容の学び直し教材として活用している。
- ・小学校の問題で生徒に興味関心を持たせ、中学校内容とステップアップするよう課題を作成。個人のペースで問題に取り組み、自動採点后、間違えた問題の直しをさせた。
- ・個人で分からなかった問題は、グループ学習で学び合いをする時間を設けている。
- ・「ちばのやる気学習ガイド」を利用し、ICT機器を使って、プレゼンテーション能力を高める教材として活用している。また、活用問題では、深い学びをしている生徒に、その学びの内容を発表させ、クラス全体で学びを共有させている。

### 児童生徒の反応

- ・学び直しにより、当時分からないままにしていた問題を改めて考え、挑戦することによって、生徒たちの自信につながっている。
- ・問題には答えだけではなく解説もあるので、それを参考に自分で分からないところを解決しようとする生徒も見られる。

### 教員の反応

- ・生徒の取組の進捗状況、課題の正答率をリアルタイムで確認でき、個別指導にあたることができる。
- ・自動採点機能により、個別指導に充てる時間が確保しやすい。

### 今後の活用

- ・国語科においては、教科内で活用実践を共有し、生徒にとってより効果的な学び直しになるように授業改善を行っていきたい。
- ・さらに校内で活用する教科が増えるよう、研修会を開き、働きかけを続けていく。



写真下

「ちばのやる気学習ガイド 国語 聞くこと1」の活用場面。MEXCBTに搭載されている問題の解答を、原稿用紙に記述させ、どこを工夫したかについて根拠に基づき発表。